

いつもありがとうございます。62年前に誕生した初代ゴジラは体長50m。当時、東京で一番高い建物が丸ビルの31.2mだったのでゴジラは巨大に見えました。その後、高層ビルが次々と建設され30年後には体長80m。さらに100mを超え、最新作『シン・ゴジラ』では歴代最大の118.5m。ゴジラの体長は日本経済の発展を映す鏡でもあったのですね。

痛快! えだまめ君

画:ほりひろみ



知っここ! 「税務のマメ知識」

【平成29年1月から全ての人が加入可能に】

公的年金に上乘せして給付を受ける私的年金のひとつに「確定拠出年金」があります。掛金を定めて事業主や加入者が拠出し、運用は加入者自らが行います。将来の給付額は掛金とその運用益との合計額によって決まると



というのが、確定拠出年金の仕組みになります。これには事業主が実施する「企業型」と個人で加入する「個人型」があり、個人型は平成29年1月から加入者の範囲が拡大され、基本的には全ての人が加入できるようになります。また個人型の税制優遇措置

には次のようなものがあります。まずひとつが「掛金が全額所得控除」になります。例えば毎月の掛金が2万円で税率が20%だとすると節税効果は年間48,000円、25年間で総額120万円になります。次に「運用益も非課税で再投資」されます。通常、金融商品の運用益には源泉分離課税がかかりますが、個人型の運用益は非課税になります。そしてもうひとつは「受け取る時の優遇措置」です。老齢給付金を一時金として受け取る場合は「退職所得控除」、年金として受け取る場合は「公的年金等控除」という控除が受けられます。注意点としては「自分で運用」する自己責任型の制度であることや、中途での引出しに制限があり原則60歳まで引き出すことができないこと、加入時の手数料や毎月の口座管理費が必要になることなどが挙げられます。

知っここ!

田邊繁雄の～税務コラム～

『平成28年度国家予算』に見る日本の現状

サミット、参院選挙、都知事選挙と平成28年度上半期は様々な出来事がありました。上半期は、日本の、私たちの将来に影響を及ぼすひとつの起点になるかもしれません。さて、今回は日本の現状を知るために、平成28年度の家計予算を再確認してみたいと思います。まずは歳入(収入)ですが、総額は96.7(前年96.3)兆円でその内公債金は34.4(同36.8)兆円で、税金は57.6(同54.5)兆円となっています。この他にその他収入があります(4.7兆円)。前年度までの税金は消費税収入が最も多かったのですが、本年度は所得税(18兆円)、消費税(17.2兆円)、法人税(12.2兆円)の順になっています。いずれも前年度よりも増収で、税金は前年度よりも3.1兆円増の57.6兆円です。さて、使い道である歳出(支出)ですが、国債費は23.6(前年23.4)兆円で、これに社会保障費32.0(同31.5)兆円、地方交付税交付金等15.3(同15.5)兆円を加えた3経費で歳出の7割が占められています。中でも、社会保障費は増加の一途を辿っている現状下、先般の消費税率引き上げの先送りの決定が社会・経済にどのような影響を及ぼすか、先行き不透明としか言いようがない「日本の現状」……。みなさんはどうお考えになりますか?



社員のひとこと日記



9月中旬、ここ数日は暑さも和らぎ過ごしやすい日が続いております。しかし9月前半は雨や台風の多い気象の変化が激しい月でした。これからの季節、朝夕冷え込んでまいりますので皆様、お身体にはお気をつけください。

さて、先日は娘の保育所の運動会でした。今年4月に入所したので、娘にとって初めての運動会！娘は環境の変化、特に大勢の知らない人がいる場所に行くとかチコチに固まるので、運動会どうなるかしら～と案じておりましたが、その心配も杞憂に終わり、2競技に出場し、まさかの1位と2位という結果でした！

お遊戯も練習ではクネクネしているだけでしたが本番はノリノリで踊り、両家の祖父、祖母も大喜び！見に来てもらった甲斐がありました。娘が上手く競技に参加出来ないだろうと案じた私は大反省。小さな子供が秘めた大きな可能性を信じる事が親として大切だなあと感じた、秋晴れの1日でした。

高橋

365日が楽しくてたまらない！「商売のヒント」

今月の商売のヒント：【アホウドリに学ぶ商売の知恵】

「アホウドリ」という名前の鳥がいます。一説には、ほとんど人間と接触しないので警戒心が少なく、簡単に捕まえられるアホな鳥だからという不名誉な理由でその名が付いたそうです。ところが、アホウドリはとても賢い人生設計で生きています。野生のアホウドリの寿命は15年から20年。野鳥では異例の長生きです。



1年に1回だけ産卵し、1回の産卵では1個の卵しか産みません。産卵後はほぼ1年かけてひなをかえし、育てて教育します。ひなの育成には多くの時間がかかるので卵を産まない年もあります。子育てする場所は絶海の孤島。場所は限られている反面、哺乳類などの外敵が来ないので安全に子育てできます。外敵の少ない孤島で長生きして子どもを大切に育てる。これがアホウドリの人生設計です。己をよく知った上での見事なやり方ですね。

アメリカのミッドウェー環礁国立自然保護区には、特に賢いアホウドリが住んでいます。推定年齢65歳以上。確認されている限りでは世界最高齢の野鳥というだけでも大したものなのに、つい数年前にも産卵し、これまでに30羽以上のひなを育てあげたそうです。環境汚染などで生存環境が悪化する中、通常の3倍以上も生き続ける大ベテランのこのアホウドリを研究者たちは「ウイズダム（知恵）」と呼んでいるとか。肩書きが社長でも経営者にはなれません。経営者と呼ばれることはあっても、実際に経営ができなければニックネームと同じになってしまいます。「経営者の仕事はシミュレーションに尽きる」と言った人がいますが、確かに経営には知恵が必要です。ひょうひょうとしながらも商売がうまくいっているなら、その人は陰で何十回もシミュレーションをしてお金と人を動かしているのかもしれない。自分をよく知り、優先順位を的確に判断してシミュレーションを繰り返し、最善の策を取っていくのが経営だとすれば、アホウドリは立派な経営者です。経営者というニックネームに甘んじてはいけません。アホウドリに負けない商売設計で先へ先へと進んでいきたいものですね。

